

2020年12月23日

Press Release
報道関係各位

一般財団法人日本民間公益活動連携機構

休眠預金を活用した事業のシンボルマークの決定

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（所在地：東京都千代田区、理事長：二宮 雅也 損害保険ジャパン取締役会長、英文名：Japan Network for Public Interest Activities、略称：JANPIA）は、「休眠預金を活用した事業のシンボルマーク」を決定しました。

JANPIAでは、資金分配団体・実行団体と共にこのシンボルマークを活用し、休眠預金を活用した事業の普及・促進に努めてまいります。



【シンボルマークのデザイン】

休眠預金を活用した事業のシンボルマークは、日本を代表するデザイナーの1人である佐藤忠敏さんのデザインです。タンポポの綿毛は広くさまざまな場所に飛んでいき、いったん着地するとその場所にしっかりと根を張り花を咲かせ、容易には枯れることのないたくましさと持続性を兼ね備えています。このタンポポの特性を本事業のシンボルにふさわしいものとして制作されました。

【シンボルマークの標語】

休眠預金を活用した事業のシンボルマークの標語は、公募で集まった315件の案の中から選ばれました。メイン標語は「舞い上がり 社会を変える みんなの力」です。休眠預金を活用した新しい試みにチャレンジする資金分配団体が増え、その助成によって実行団体においても活動が拡がり、さまざまな立場の人が参画することによって社会を変えていく…。その可能性を休眠預金が持っているということが込められています。

※メイン標語の他、2つのサブ標語を設定しています。

シンボルマークについての説明は[こちら](#)をご参照ください。

〈参考〉2020年12月16日に「シンボルマーク標語 表彰式」を開催

2020年12月16日、「休眠預金を活用した事業のシンボルマークの標語 表彰式」をメイン標語作者である根本大輔さん（東京都在住、B&G財団）をお招きし開催しました。新型コロナウイルス感染症への対応として、ソーシャルディスタンスや手指消毒、マスクの着用などに配慮し、少人数での開催となりました。以下は当日の様子です。



サブ標語作者 大村慧さんについては、山形県在住ということもあり、同日にオンラインでの表彰式を開催しています。

JANPIAのウェブサイト特設ページには、メイン標語作者 根本さん、サブ標語作者 大村さん、また審査委員のコメントや根本さんへのインタビュー記事も掲載していますので、ご参照ください。

- シンボルマーク特設ページは[こちら](#)
- メイン標語作者インタビューは[こちら](#)

〈本件に関する報道関係からのお問い合わせ先〉
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

企画広報部

TEL : 03-5511-2026

Mail : info@janpia.or.jp